

学 習 会

テーマ
なぜ

淡水魚の放射性セシウム濃度は低下しにくいのか？

2011年原発事故により、福島県の漁業は甚大な被害を受けた

講 師 **和田 敏裕 さん** 福島大学 環境放射能研究所 教授

実施日 2025年 **11月17日（月）** 14:00~16:00

場 所 **藤沢市役所本庁舎 4階 4-4会議室** 定員30名

東北大学農学部卒業、京都大学大学院農学研究科修了（農学博士）、現在、福島大学 環境放射能研究所 教授震災前までは、福島県に生息するカレイ類（ホシガレイ・マツカワ）の生態研究や栽培漁業技術の向上に関する研究を行う。

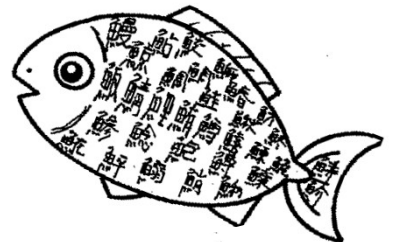
震災後は福島県の実産生物の放射性物質汚染に関する研究を行う。2015年4月からは、淡水魚の放射性セシウム汚染のメカニズムの解明に関する研究に取り組んでいる。

手話

要約筆記（話の内容を要約し、その場で文字に表す）

保育付 保育申込11/14まで消費生活センターへ

参加費無料／申込不要／当日会場へ



発熱、体調不良の方は参加をお控えいただきますようお願いいたします。

藤沢市では、1986年4月の旧ソ連チェルノブイリ原子力発電所の事故（世界中に放射能・死の灰がばらまかれた）後、市民の熱い希望により、食品の放射性物質（セシウム134・セシウム137）を測定できる、機器を市役所に設置しました。

藤沢市放射能測定器運営協議会では、食品、食品等に係わる放射能測定 を行なっています。

藤沢在住・在勤・在学の皆さまに申し込ただけです。申込受付は市民相談情報課消費生活センター で行なっています。

藤沢市役所ホームページ上に食品の放射能測定結果掲載しています。

主 催 藤沢市放射能測定器運営協議会 田熊 久枝 TEL/FAX 0466-43-4778

問合先 藤沢市役所 市民相談情報課消費生活センター TEL 0466-50-3573（直通）